

# 東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

## 【2016~2017主題】

国際会長 Joan Wilson  
アジア地域会長 Tung Ming Hsiao  
東日本区理事 利根川 恵子  
あずさ部長 浅羽 俊一郎  
東京武蔵野多摩会長 山口 直樹

「Our Future begins Today」  
「Respect Y's Movement」  
「For the Future, Act Today!」  
「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ!」  
「一步一步前に進もう。Yと共に!」

## 【クラブ役員】

会長 山口直樹  
副会長 板村哲也  
会計 宮内友弥  
書記 渡辺大輔

## 2016年 今月の聖句

詩篇46章2節わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

希望は私たちを欺くことはありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

(ローマ人への手紙5章3節)

## ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利を伴う

## 五つの誓い

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

## ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す

## 8月例会プログラム

強調月間：CS

日時：7月30日(土) 12:00~

場所：こひつじ幼稚園  
(長野県原村)

司会：山口 受付：渡辺

聖書・祈祷：山口

\* 8月例会は、長野県の原村で  
松本クラブとの合同例会です。

\* 開会点鐘

\* ワイズソング

\* 聖句朗読

\* 両会長あいさつ

\* メンバー自己紹介

\* ハッピーバースデー

\* 閉会点鐘

## 7月例会報告

在籍者	13名
出席者	11名
メーキャップ	1名
出席率	85%
ゲスト	6名
ビジター	6名
ネット・コメト	1名
にこにこ	21682円

一步一步前に進もう。Yとともに！ 山口直樹

最近思うことを少し。

時々耳にすることで、子ども達が将来の自分の姿を描けなくなっている。モデルとなることが見えない。夢はみんなしっかり持っている。でも、現実的なのか。

別の資料では、今の社会にある職業のかなりのものが将来存在しなくなる。様々な技術の進歩(?)と共に今ある職業のうちかなりのものが、機械(IT)にとってかわられるというのである。実際にどうなるかはわからないが、とにかく変化の激しい現在、自分がどのように生きていけばよいのか、何をしたいのか、すごく見えにくくなっていることは確かだと思う。あえて見ないようにしている自分もいると思う。

それが、子ども達の現在にも影響を与えていることは確かであろう。目の前にいる大人たちがあたふたしているのであるから。その中で、安易なものによりどころを求め、その中での当面の目標を作ってしまう感じがするのは私だけであろうか。目標ではなく逃避とも思えるが。日本そして世界を見回すと(見回さなくても非現実としか思えない状況が飛び込んでくる)なんでこんなになっているのかなと感じてします。

先日、世界一貧しい大統領と言われたホセ・ヒムカ氏が来日した。4年ほど前に行った伝説のスピーチ「私たちは発展するためにこの世にやってきたのではありません。幸せになろうとしてやってきたのです。」

この言葉にまさに今の状況に背を向け、ごまかしの夢を見せられている私たちが浮き彫りになってきていると思う。YMCAの進むべき道も示しているのではないのでしょうか。彼は別の言葉も残しています。「死をうけいられず、不幸なままで死んでいく人たちがいる。重要なのは、自分の人生をとことん愛することだ。」生きることの幸せを感じるのだと思う。高齢者施設にいた私としては、心に響いた。その通り。

今、私たちは何かしなければいけない、何かしたい、動きましょ。との思いで苦しんでいる。まず、とにかく皆で考え、動き、反省評価した一つ上の段階に進んでいく。それが求められている。混沌としていることが、逆にチャンスともとらえられる。

「明日に向かって、今日動こう」利根川東日本区理事

「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ!」浅羽あずさ部長

お二人の主題に合わせて幸せを求めて一步一步前に進んでいこうと思う。Yと共に!

東京武蔵野多摩クラブ今月号のプリテンは、2016年7-8号合併号となります。

## 2016年7月例会報告

日時 7月13日19時～  
 会場 東京YMCA西東京コミュニティーセンター  
 司会：石丸 聖書・祈祷：伊佐 受付：麻生、野尻  
 メンバー：11名（山口、板村、宮内、麻生、伊佐、  
 石丸、大輪、清水、野尻、山本、出沼）  
 ビジター：浅羽、江夏、大内、御園生、小山（久）、  
 小山（憲）、綿引  
 ゲストスピーカー：藤田、学生5名

テーマ：“野菜作りは街づくり”

藤田さんは新しくできた東京多摩みなみクラブのチャーターメンバーです。また、現在でもNHKで趣味の園芸に出演中で活躍されておられます。恵泉大学で教鞭をとられていて、この日も5名の学生さんを連れて来ていただきました。

### ・園芸で起こった奇跡

藤田氏が、29歳の頃四つ葉のクローバー10本を探したそうです。大切に育て、その内6本から根が出て根付いたそうです。四つ葉のクローバーは、幸せを運んでくれます。幸せは根付き、その頃奥様との出会いもあったそうです。

### ・農業が地球にもたらしたもの（安定した食料生産）

藤田氏は、歌手の西城秀樹さん、榊原郁恵さん、元サッカー選手の北澤豪さん達と農業を行いテレビの視聴率もアップして生産することの楽しさなどをテレビを通じて教えてくださったそうです。

### ・草花が生活を変える

ゴミ等が山のように有った不法投棄の場所に花を植えたらどうなるか？

どう変化するのか？学生たちが実験したところ、ゴミの処理量がどんどん減少したそうです。ゴミを捨てられていた汚い場所に花を植えることにより美しい場所に変わっていったそうです。

### ・相模川の芝ざくらライン

13名の老人会の方が相模川の川沿いのごみ処理を市役所に依頼したところ県の方に、その予算があるからと説明され、トラック10台分のゴミを処理し、その跡地に、芝ざくらを植えたそうです。

芝ざくらラインが根付いていき、そのそばには農作物をテントで販売したり、経済効果も生み出したそうです。また、歩いている人も草むしりに協力されたり、街の人々の心に園芸が響いている様子でした。

### ・秦野市のじばさんず（JA）

2004年売上 2億5000万円  
 2008年売上 10億円  
 （農家とJAの努力、リピーターの口コミ、藤田氏のご活躍などにより）

・82歳のある方が、畑で足をくじいてしまい、いつもの時間に野菜を届けられず少し遅くなって足を引きずりながら、やっと野菜を届けたところ、消費者の人から『あなたの野菜をまっていたのよ』と、ポンと肩を叩かれたそうです。

帰路、この方は足の痛みを忘れてしまうほど嬉しい気持ちだったそうです。

生産者の顔が見える、消費者と生産者との、より良い関係が築かれている様子です。

・学生の持ち帰った野菜から生まれる家族の会話  
 ある学生が、大切に育てた新鮮で触ると痛いぐらいのキュウリを自宅へ持ち帰り、家族で食べたそうです。非常に美味しかったのはもちろんですが、夜遅くに帰宅した父親も、そのキュウリを食べて『こんなに美味しいキュウリを食べたのは生まれてはじめてだ』と、すでに眠っていた娘の枕元にそっと手紙と3000円を置いたそうです。次の日の朝、久しぶりに親子の会話が成立したそうです。

〈 私が育てた最初のいのち いのちを食べて 命が  
 生かされている 〉

### ・日本の野菜の話し

Q. 人参は何科？（ヒント：トヨタの車） A. セリ科

Q. キャベツによる薬は？ A. キャベジン

Q. 玉にならないキャベツは何になる？ A. 青汁

モロヘイヤは沢山食べると、毒にもなり。ヘチマはウリ科。肌は綺麗になるが輪郭までは変わらない。

栄養のない野菜 No.1 キュウリ No.2 ナス  
 トマトの魅力は、リコピン、カロチンは体内でビタミンに変化する。

大根、手で皮のむけるみかんは、世界に誇る植物である。

ユーモアたっぷりに、植物から生きるパワーをもらおう  
 お話、楽しい野菜作り、  
 心に響く園芸のお話しをして下さいました。

最後に、ジャンケン大会の勝者に大切な野菜作りの本をプレゼントして下さいました。

楽しい園芸のお話しをもっと沢山聞きたいという皆の感想で、また次回必ずスピーチをしていただくと言う約束をして終了となりました。（麻生）

## 今月の Happy birthday

7月

1日 石丸さん  
 11日 笠利さんメネット  
 27日 清水さんメネット  
 24日 松田さん  
 15日 松田さんメネット

8月

なし

## [強調月間コーナー]

ご存知のようにワイズでは、次のように月ごとに強調月間のテーマを決めて活動の励みにしています。今年度は、各月のテーマについてロースターにある「ワイズ用語」を引用しながら学んで行きたいと思えます。

- 7月 キックオフ、YMCAサービス、ASF、RBM
- 8月 CS
- 9月 ユース
- 10月 EMC-E、YES
- 11月 ワイズ理解、ファミリーファスト
- 12月 EMC-MC
- 1月 IBC/DBC
- 2月 TOF
- 3月 BF、メネット
- 4月 LT
- 5月 EF/JEF
- 6月 評価

## 7月 キックオフ、YMCAサービス、ASF、RBM

- ・ASF: Alexander Scholarship  
ワイズメンズクラブの創始者P. W. アレキサンダーを記念して設置された奨学基金。  
将来YMCAに奉仕しようとする有為の青年に財的援助をする目的で創設された。  
東日本区では自由献金を奨励して必要な基金を作っている。その1割を国際ASF事業に送り、残る部分を東日本区でYMCAサービス・ASF基金として現在は、YMCA若手主事の研修にも援助の幅を広げている。本年度の献金の達成目標は、500円/人以上である。
- ・YMCAサービス  
東日本区の事業の一つで、YMCAへの直接の奉仕を立案、実行する。  
YMCA指導者育成のための財的援助を目的とするASFもYMCAサービスの重要な一環である。
- ・RBM: Roll Back Malaria  
マラリア撲滅運動、本年度の献金の達成目標は、800円/人以上である。

## 8月 CS (コミュニティサービス/地域社会奉仕)

- ・CS  
CSは隣人奉仕の意を表しています。国際では、TOF (タイムオブファスト) 献金を行っています。各クラブは区のCSに参加すると共に、関係YMCAと協力してその地域社会の求めに応える奉仕の実践が求められています。CSとは、大きくは地球社会の、小は近隣社会の隣人への奉仕活動であるといえます。当クラブのCSには、西東京センターが毎年行う国際協力募金の際の街頭募金活動、国立さくらフェスティバルへの参加、チャリティランへの西東京センターチームエントリーなどがありますが、これからも核となる新たなCS事業を育てたいものです。

(TM)



## お知らせコーナー!

## § 第19回 日本YMCA大会

日時: 2016年10月8~10日

場所: 日本YMCA同盟 東山荘

参加費: 28,000円

テーマ:

「Are You Empowered?」

※詳細はYMCA同盟HPにて。

## § 東西ワイズメン 20周年記念交流会

日時: 2017年2月4~5日

場所: 日本YMCA同盟 東山荘

※その他、詳細は追って。

## § Y's Men's World 2016年6月号 (4回/年) が国際のHPに掲載されています。

国際のHPからダウンロードしてください。

(http://ysmen.org/fileadmin/files/International/YMW/YMW\_4\_15-16.pdf)

## § 区大会特集

### ・第19回東日本区大会に参加して

伊佐 節子

6月4日(土)～6月5日(日)長野市若里市民文化ホールで開催。  
 「ワイズにひかれ善光寺」のキャッチフレーズに惹かれた。  
 長野クラブ森本さんの日頃の評議会での熱心な参加態度に敬意を覚え、奮闘している姿に協力しなければという思いがあった。  
 小さなクラブでも区大会がホストできることは驚異である。  
 近隣のあずさ部の5クラブが協力クラブとなってこれを助け、成功へと導いたと思う。  
 しかし、参加して感じた事は、小さなクラブでも会員の質の多様差に驚いた。  
 「山椒は小粒でもぴりりと辛い」、と精鋭メンバーで構成されていると感じた。  
 メンバーに僧侶、牧師、元市長と異質の構成が成立していた。  
 それぞれの資質を生かして大会のプログラムが構成され、いままで体験したことのない区大会だったように思う。  
 長野プレゼンツでは、善光寺天台声明の合唱を聞き、善光寺詣り 絵解き口演では、古くから絵解きにより善光寺信仰を伝えてきた絵解き口演を小林玲子、竜太郎さんが実演吹奏楽団「夢」による演奏と信州に縁の曲を会場の会員と斉唱  
 晩餐会は、ホテルメルパルクNAGANOに移動して善光寺木遣り保存会の木遣で開会。  
 食前の感謝は「仏教の食事作法」で食前のいのりを紹介すると  
 「われ今幸いに仏祖の加護と衆生の恩恵によって、この清き食を受く  
 つつしんで食の由来をたずねて味の濃淡を問わず、その功德を念じて品の多少をえらばじ いただきます。」  
 大会初日は、セレモニーを通して、善光寺を知る機会となった。  
 翌日、聖日礼拝は長野クラブの会員胤植牧師により執り行われた。  
 午前中東日本区アワー  
 午後エクスカッションA、B、Cの3コースに別れて出発。  
 解散  
 「ワイズにひかれ善光寺」とてもユニークな大会でした。皆様のご活躍とご苦勞に心から感謝いたします。

### ・2015-2016年度代議委員会報告

宮内友弥

東日本区大会に先立ち6月4日(土)午前10時30分～午前11時30分 長野市・若里市民文化ホールにて開催された。出席者数は63名(うち委任状による出席者数7名)で次の通り9議案が審議され承認された。  
 第1号議案「2014-2015年度決算報告および会計監査報告」  
 第2号議案「2015-2016年度年次報告および行政監査報告」  
 第3号議案「2015-2016年度東日本区中間決算及び会計監査報告」  
 第4号議案「東日本区会計決算・監査報告の承認方法変更」  
 現行では次年度の代議員会で承認しているが、当年度の代議員会で中間決算の承認を得(今まで通り)、残りの数ヶ月分を次年度の早い時期に監査を受け、速やかに郵便による議案処理(定款第6条第14項)で、代議員の承認を得るものとする。当年度の区報最終号で決算・監査報告を掲載する。  
 第5号議案「次期理事、次年度の次期理事、次年度の次々期理事、次期監事候補者指名の件」  
 以下の方が候補者として指名された。  
 16-17年度理事 利根川恵子(川越)、17-18年度理事 栗本治郎(熱海)、  
 18-19年度理事 宮内友弥(東京武蔵野多摩)  
 16-17年度監事 駒田勝彦(甲府21)、久保貞視(東京八王子)、第6号議案「2016-2017年度東日本区理事方針」  
 主題「明日に向かって、今日動こう」  
 重点目標:クラブ拡張と会員増強、部の強化・活性化、YMCAとの協働の強化、スリムな区の運営  
 第7号議案「2016-2017年度東日本区役員」  
 第8号議案「2016-2017年度東日本区会計予算」  
 部の活性化で、部主査やLT委員の出張研修の交通費を計上した。  
 区事業費もeラーニング準備費用を盛り込んだ。  
 第9号議案「第21回東日本区大会ホストクラブ」  
 立候補に基づき、第21回東日本区大会ホストクラブを沼津クラブとする。

## ・東日本区大会 ユースアワー報告

渡辺 大輔

東日本区大会のオープニングセレモニーは、13時から始まりますがその前10:30より(11:45まで)各担当者にて4つの分科会が行われています。(代議委員会、メネットアワー、ユースアワー、担当主事会)ユースアワーへの参加者は、今年IYC参加のユース5名と、ワイズ13名の計18名でした。

ユース事業委員の本間、渡辺が司会進行。

自己紹介の後、3~5人のグループに分かれ「あなたはなぜワイズメンズクラブへ入ったのですか?」、「あなたの所属しているグループの問題点はなんですか?」、「その問題点の解決策は何だと思いますか?」を各グループで話し合ってもらい、全体でシェアをし、集合写真撮影といった流れでした。

各グループ、時間が足りないくらい盛り上がっていました。

参加者(敬称略)

ユース(カッコ内は推薦クラブ):

永坂(埼玉)、内海(宇都宮)、須郷、佐宗(東京八王子)、末永(茨城)、藤永(中央大学YMCAOB)  
 メン: 青木(千葉)、飯野(山手)、越智(東京たんぼぼ)、衣笠(埼玉)、小口(東京八王子)、佐藤(東京)、  
 長津(東京サンライズ)、本間(東京江東)、松川(川越)、吉田(東京むかで)、渡辺(東京武蔵野多摩)、  
 河合(西日本区Yサ・ユース)、正野(西日本区書記)



## ・区大会担当主事会報告

出沼一弥

東日本区大会のオープニングセレモニー前の短い時間ではありましたが、宇都宮、所沢、東京グリーン、東京ひがし、東京ベイサイド、茨城、甲府・甲府21・松本・富士五湖・松本、金沢八景・横浜の担当主事、東日本区ワイズメンズクラブ連絡担当主事、YMCA同盟総主事が参加して、各クラブの現状をシェアしました。現状というところでは、クラブ員の年齢層が高くなってきていることや主な活動、YMCA会員増強について話されました。多くのワイズでクラブ員を増やしていきたいと考えていてその取り組みなどの確認もされました。東京ベイサイドワイズメンズクラブの成り立ちは、こども園に通う保護者が会員となりワイズを立ち上げたことを受け、各YMCAが運営する保育園や幼稚園、プログラムなどに通う多くの保護者に、YMCAの魅力をもっと分かってもらえる保護者だからこそ、YMCA運動を担うワイズへの入会や新規クラブの立ち上げを呼び掛けていくことで、YMCAもワイズも盛り上げていくのではないかと話されました。担当主事に参加し各クラブの現状や今後の展望などを聴いて、「魅力あるYMCA、魅力ある主事」であることが、お互いの関係性をさらに高めていくことだと感じました。

## 8~9月の予定

- 8月
- ・1~7日 国際1-30ホケーショ(台北)
  - ・4~7日 国際大会(台北)
  - ・15日(月) 前期区費納期
  - ・24日(水) 第二例会
  - ・27日(土) 東京YMCA夏祭り(東陽町)

※ 8月例会は原村例会のため変則的です。

- 9月
- ・9~11日 YVLF(山中湖センター)
  - ・14日(水) 第一例会
  - ・22日(木) チャリティーラン(木場公園)
  - ・28日(水) 第二例会

### ・オープンフォーラムY報告（渡辺）

6月19日に国立オリンピック記念青少年総合センターにて、第5回オープンフォーラムYが行われました。オープンフォーラムYとは、ワイズ、YMCAとは関わりのないユースにもっと、ワイズやYMCAを知ってもらおうべく、どんな人にも参加してもらおうという目的で開かれた講座です。

「忘れません：震災被災者、難民、子どもの貧困」をテーマに12名の参加者が集まりました。

（ファシリテーター1名、講師3名、ワイズ10名、東京YMCA1名）

ファシリテーターにはOxfam Japan<sup>※1</sup>で活躍されている鈴木さんが、講師にはJEN<sup>※2</sup>から木山さん、AAR Japan<sup>※3</sup>の福井さん、児童養護施設「さんあい」施設長の高瀬さんが来て下さり、9:30から18:30まで1人も脱落すること行われました。閉会后には希望者による懇親会も行われ参加者たちの今後、何か活動を始めきっかけにつながれば良いなあと思っております。近日中に実行委員会にて報告書がまとまりますので、詳細についてはそちらをご参照ください。

※1：Oxfam Japan は、貧困を克服しようとする人々を支援し、貧困を生み出す状況を変えるために活動する国際協力団体です。

※2：特定非営利活動法人JEN(ジェン)は、紛争や災害等の被災者・難民への、緊急・復興支援や自立支援などに取組む国際NGOです。

※3：AAR Japan [難民を助ける会] は1979年に日本で生まれた、政治・宗教・思想に偏らない国際NGOです。



### ・第19回東京YMCA会員芸術祭（板村）

7月1日、芸術祭の受付（13:00～16:00）を松田さんと一緒に行いました。私たちの担当時間の最後までで16名の来場者（受付係も含む）がありました。山田公平さんのご来場もありました。

また14:00～16:00は最近来日し東京YMCAで日本語を勉強中のベトナム人女性もボランティアで受付に列席しました。



### ・第1回あずさ部 なないろ 評議会（板村）

7月16日（土）中野サンプラザで、今年度最初のあずさ部評議会が我がクラブのホストで開催されました（10:30受付、12:30閉会）。前回ホストクラブを務めたのは2015年2月で、一年半ぶりのホストでした。今評議会の愛称は、石丸ワイズの発案で、開催日が7月16日であることから「なな(7)い(1)ろ(6)」と、夢と希望に満ちた虹の色としました。出席者は65名で我がクラブからの出席者およびホスト業務担当は次の通りでした。麻生（受付、誘導）、伊佐（受付、聖書朗読・祈祷）、板村（開会式・閉会式司会）、出沼（YMCA西東京センター）、大輪（誘導、ワイズソングCD操作）、清水（会計）、野尻（受付）、宮内（誘導）、山口（歓迎挨拶）。

評議会（11:10～12:20）では、第一号議案（2015-2016年度会計決算承認の件）、第二号議案（2015-2016年度決算監査報告の件）とも異議なく、拍手を以て承認されました。続いて浅羽部長より第1回東日本区役員会の結果につき報告が行われました。また同部長より所信表明があり、会員は皆奥ゆかしい人たちで自分のことを宣伝しないが、それぞれに素晴らしいものを持っているので、これらの賜物を発掘して部を活性化していきたいと述べられました。続いて各事業主査及びクラブ会長の所信表明が行われました。

閉会式後ロビーにて標直前部長より記念撮影が行われました。通常、評議会の後に開催される懇親会は、今回は直後の別予定（後述）の関係もあり、行いませんでした。

評議会後に同じ中野サンプラザの別室で東京西クラブの創立40周年記念例会と祝会が開催され、我がクラブからは5名が出席しました。



### ・東京西ワイズメンズクラブ40周年記念例会・祝会

7月16日に中野サンプラザで、東京西ワイズメンズクラブ40周年記念例会・祝会が130人を超える参加者を迎え盛大に行われました。東京西クラブは1976年に我々のクラブの前身の武蔵野クラブと目黒クラブがスポンサークラブとして誕生しました。

第一部記念例会の記念講演では、ラグビー元日本代表の今泉氏の講演があり、スポーツを例にとりながら、心の持ちよう人間行動について大変わかりやすく、楽しい語り口でワイズ活動に関しても様々な示唆が与えられたと思います。

第二部の祝会ではピアノミニコンサート、お祝いの言葉、東京YMC A国際ホテル専門学校の留学生への奨学金贈呈など大変盛りだくさんで、もちろんクラブの活動紹介もあり、中身がぎっしり詰まった祝会になりました。会場全体が暖かい交流の場となり、人を探すのも大変なくらい大混雑でしたが、皆満足して楽しんでいただけた印象です。

東京西ワイズメンズクラブが困難を乗り越えながら素晴らしい活動を続けてこられた様々なことが、これだけ大勢の仲間が祝福する会になったことだと強く感じ、ワイズの生き方を学ばせてもらった気がします。

(山口)



### ・多摩みなみクラブチャーターナイトに出席して

多摩みなみクラブのチャーターナイトはConti(コンティ)多摩センターにて2016年7月17日(日)16時より行われ板村さん、山口さんと共に出席しました。101名の参加のもと、第1部国際協会加盟認証状伝達式で利根川理事による認証状伝達が行われチャーターバッジが15名の新メンバーに装着された。新クラブ石田会長による決意表明に続き、来賓の川田多摩市社協常務理事、菅谷東京YMCA副総主事、細川東新部部长が祝辞を述べられ、新クラブ誕生を祝福された。第2部の祝会では新メンバーそれぞれの自己紹介もあり大いに盛り上がり予定の時間を大幅に超過してお開きとなった。

当クラブは新クラブ設立にあたり東京八王子クラブと共にサポートクラブとしてお手伝いしてきました。また既に当クラブの例会の卓話者として、新クラブメンバーになられた綿引康司さん(4月例会)、藤田智さん(7月例会)をお招きしています。新クラブチャーター後のこれからもお隣のクラブとして刺激しあひまたパワーをもらってお互いの成長、発展に結びつきたいと願います。(宮内)



## §その他、会員の委員会等出席情報

### 7月

- 1日：東京Y会員芸術祭受付ボランティア(板村、松田)
- 2日：東京サンライズクラブ 第2例会(山口、宮内、渡辺)
- 4日：東京Yチャリティーラン実行委員会(宮内)
- 8日：区定款見直しワーキングチーム会合(宮内)
- 9日：第1回区役員会(宮内)
- 14日：東京サンライズクラブ 第1例会(山口、板村、宮内)
- 15日：文献・組織検討委員会(宮内)
- 16日：東京西クラブ 40周年記念祝会(山口、板村、宮内、清水、伊佐)
- 17日：多摩みなみクラブチャーターナイト(山口、宮内、板村)
- 20日：長野クラブ 例会(山口)
- 21日：東京西クラブ 例会(山口)

## &lt;西東京YMCA便り&gt; 出沼一弥

## ▼西東京センター7月のプログラム報告

## ○定例プログラム

- 7/3 にこにこ(幼児) 伊奈キャンプ村 川遊び 15名参加  
 7/3 ロビンソン(小学生) 伊奈キャンプ村 川遊び 26名参加  
 7/10 Smile(発達障がい児) 伊奈キャンプ村 川遊び 17名参加  
 7/3 あおぞら(知的障がい児・者) わくわくビレッジ クッキング 16名参加  
 7/10 シャベルズ(知的障がい児・者) 伊奈キャンプ村 川遊び 16名参加

## ○シーズンキャンプ

- 7/23-25 山中ビレッジトータルキャンプ(年中～小学4年生) 山中湖センター 37名参加



## ▼西東京センター8月の予定

- |         |                           |    |    |
|---------|---------------------------|----|----|
| 8/3-5   | ワイルドフラワーキャンプ(発達障がい児キャンプ)  | 引率 | 出沼 |
| 8/11-14 | あおぞら・つばさキャンプ(知的障がいキャンプ)   | 引率 | 中里 |
|         | シャベルズ・かめの子キャンプ(知的障がいキャンプ) | 引率 | 廣瀬 |
| 8/17-21 | 戸隠ネイチャーアドベンチャーキャンプ        | 引率 | 廣瀬 |
| 8/18-22 | 野尻ユースキャンプ                 | 引率 | 出沼 |
| 8/24-27 | 道志グリーンキャンプ                | 引率 | 廣瀬 |
| 8/22-24 | つるじんの工作スクール(講師:永井勝彦)      | 担当 | 中元 |
| 8/27    | 東京YMCA夏祭り(東陽町センター)        |    |    |
| 8/28    | ユースワンデイトリップ               | 引率 | 出沼 |
| *8/4-15 | 西東京センター夏季休館               |    |    |

## ▼キャンプシーズン到来

自然環境の中で行う「キャンプ」は、「人を育てたい」と願うYMCAにとって、とても有効なプログラムのひとつです。初めて出会う者が少人数のグループに分けられ共に生活をしていく。グループに所属していることを通して、他者と自分の違いを知り、相手を認める(受け容れる)ことは自分を守ることでもあると知り、仲間と築いた時間や経験がその後の人生の指針となるような気付きもあります。

キャンプにはリーダーと呼ばれるボランティアの存在が欠かせません。リーダーたちは、キャンプの実施期間だけでなく実施の約3ヶ月前から週1度のミーティングに参加をしています。将来教師を目指す者、かつて自分がキャンパー(参加者)だった者、友人に誘われて仕方なく!? 始める者、子どもが好き者…、キッカケは様々です。ボランティアで参加をしていますが、キャンパーの命を預かることを深く受け止め、講義と実技トレーニングキャンプ(ボートを漕げるようになったり、薪を割って火が点けられるようになったり、食事中の子どもを観察や記録の取り方など)に参加してもらっています。実技トレーニングは3か所(山名湖センター6/17～19、野尻キャンプ6/24～26、赤城キャンプ6/24～26)に分かれを開催しました。実際のキャンプに近いカタチでトレーニングをするために、「OBOGリーダー」に「グループリーダー」の役割をお願いして、リーダーたちが「キャンプの参加者体験(メンバー体験)」をできるようにしています。初めてボランティアに携わる人にとってはトレーニングも良く分かっておらず不安を感じていますが、グループリーダーがきちんと気持ちに寄り添います。限られたトレーニング時間の中であらゆるスキルを習得することは難しいですが、小集団の生活で感じたことやグループリーダーの働きを通して感じたことをきちんと振り返ってもらい、本番のキャンプで生かしていくようにしています。

この夏に出会う子どもたち、そしてリーダーにとって、豊かな成長する時間となるようしっかり務めて参ります。

## ▼活動紹介

西東京コミュニティーセンターで行っている「定例プログラム」について紹介をしていきます。

今月は「にこにこ」と言う野外活動についてです。

\* 野外活動...月に1回程度、近郊の野山や河原など自然の中で、年齢に応じたさまざまな体験をします。

楽しく遊ぶだけでなく、仲間と協力したり、交流を深めたりと、豊かな経験を通して、子どもたちの成長を願っています。

## 「にこにこ」

にこにこは、年少(4歳児)から年長(6歳児)を対象とした年間10回(8月と3月休み)の野外活動です。参加申込をした子どもたちは、当日までに少人数(4名～6名)のグループに分けられ、そのグループのお友達やグループを担当するボランティアリーダーと自然を感じられる公園で1日過ごします。

公園ではグループの仲間と過ごす「グループタイム」や参加者全員で過ごす時間を設けていますが、活動月のねらいによってプログラム内容(公園での過ごし方)も変わってきます。7月は、伊奈キャンプ村(武蔵増戸駅から徒歩15分)へ行き、全員で川に入って水遊びをして過ごしました。

リーダーやお友達との関わりやプログラム内容を通して、「初めての体験」が「楽しい経験」になるように活動をしています。「やった!」「楽しい!」「難しい」「できない」などの気持ちに寄り添うリーダーが子どもたちの成長を引き出します。また活動場所によっては移動距離も長くなりますが、公共交通機関での移動も大切なプログラムと考え行っています。